

報道関係各位
プレスリリース

2026年1月27日
株式会社ゼロボード

環境金融研究機構「2025年サステナブルファイナンス大賞」に ゼロボード総研所長 待場智雄が審査員で参加 — 大賞に札幌証券取引所 世界における環境金融の知見を活かし、国内の先進的な取り組みを評価 —

企業のサステナビリティ経営を支援する株式会社ゼロボード（東京都港区、代表取締役：渡慶次道隆、以下 当社）は、社内シンクタンクであるゼロボード総研 所長の待場智雄が、一般社団法人 環境金融研究機構（以下 RIEF）が主催する「2025年サステナブルファイナンス大賞」の審査員を務めたことをお知らせします。



写真左：授賞式での集合写真（右から2番目が待場）



写真右：サステナビリティ・サポート賞のERM日本に賞状を授与する待場（右から2番目）とRIEFの藤井良広代表理事（右）（撮影：加藤 裕則/RIEF）

同賞は、日本の金融市场における環境金融・サステナブルファイナンスの高度化を牽引する、権威ある表彰制度として広く認知されています。第11回を迎えた今回は、日本で初めてESG債に特化したプロ投資家向け債券市場「北海道ESGプロボンドマーケット」を創設した札幌証券取引所が大賞に選ばれました。

2026年1月23日（金）に日本記者クラブにて表彰式が開かれ、待場はERM日本チームと横浜市、名古屋市などに表彰状を手渡しました。待場は審査員として初参加の講評として、「ESGに対する世界的な逆風にもめげず、様々なサステナブル金融商品の開発や活用が日本の金融機関や企業、自治体の間で着実に進んでいることに勇気づけられた」と述べています。

■ サステナブルファイナンス大賞について

サステナブルファイナンス大賞は、環境問題を金融の力で解決する「環境金融」の普及と高度化を目的として、RIEF が 2015 年より実施している表彰制度です。今回で 11 回目を迎え、日本の金融市場において、環境金融商品・サービスや先進的な取り組みを展開する金融機関や関連組織を対象に、専門的かつ多角的な視点から評価が行われています。

2025 年の審査においては、「新規性」「ESG 度」「Impact（他への波及）」「Impact（顧客・社会への影響）」「収益性」「組織評価」の 6 項目を軸に、定量・定性の両面から総合的な審査が実施されました。待場は、環境・サステナビリティ分野における長年の研究・実務経験を活かし、他の審査員とともに、日本のサステナブルファイナンスの発展に資する取り組みの評価に携わりました。

今回の審査では、国内初となる ESG 債特化型プロ投資家向け市場の創設や、グリーンボンド、トランジションボンド、ネイチャーポジティブを志向した金融商品・投資スキームなど、先進的かつ社会的インパクトの高い取り組みが数多く選出されています。受賞結果の詳細は、RIEF のウェブサイトをご覧ください。[\(https://rief-jp.org/ct7/163849\)](https://rief-jp.org/ct7/163849)

■ 審査員について

2025 年のサステナブルファイナンス大賞の審査は、以下 10 名の専門家により行われました。

- ・魚住サステナビリティ研究所代表 魚住隆太氏
- ・元ゴールドマンサックス 後藤英樹氏
- ・弁護士 佐藤泉氏
- ・グリーンファイナンスネットワーク事務局長 高田英樹氏
- ・国際金融情報センター理事長 玉木林太郎氏
- ・預金保険機構運営委員会委員 鳥谷礼子氏
- ・環境金融研究機構代表理事 藤井良広氏
- ・ゼロボード総研所長 待場智雄
- ・FINEV 代表取締役 光成美樹氏
- ・元朝日新聞記者 宮崎知己氏

ゼロボード総研は、サステナビリティ情報開示、GHG 排出量算定、ESG・インパクト評価、サステナブルファイナンスに関する調査・研究を通じ、企業および金融機関の意思決定を支える知見の提供を行ってきました。

当社は今後も、サステナブルファイナンスおよびサステナビリティ経営の実践を支えるデータ基盤とインテリジェンスの提供を通じ、企業価値向上と持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

■ ゼロボード総研について

ゼロボード総研は、不透明さを増す日本・世界が直面する社会課題・経済課題を洞察し、科学的な判断に基づき、その処方箋を提言・発信する「未来志向型シンクタンク」を目指すゼロボード社内に設置した

シンクタンク。各領域で専門性と実務経験を有したメンバーが、サステナビリティに関する調査・研究や、政策提言などを行っています。

<https://www.zeroboard.jp/service/zri>

■ 会社概要

社名：株式会社ゼロボード | Zeroboard Inc. (<https://www.zeroboard.jp/>)
所在地：東京都港区三田三丁目 5-27 住友不動産東京三田サウスタワー10 階
代表者：代表取締役 渡慶次道隆
設立：2021 年 8 月 24 日
事業内容：ESG 関連データの収集・管理・開示支援の総合クラウドソリューション「Zeroboard Sustainability Platform」の開発・提供／サステナビリティ経営に関するコンサルティング／ユーザーコミュニティ「All Aboard!」の運営

■ Zeroboard Sustainability Platform の概要

ESG 関連データの収集・管理・開示支援の総合クラウドソリューションです。豊富なプロダクトラインナップによって、ESG 開示をはじめとするサステナビリティ経営に必要なプロセスをシームレスに支援します。

- GHG（温室効果ガス）排出量算定と環境項目管理クラウドサービス「Zeroboard」
- ESG 法定開示クラウドサービス「Zeroboard ESG」
- サプライヤーに対する SAQ（自己評価アンケート）の収集・管理を効率化するクラウドサービス「Dataseed SAQ」



これらのプロダクトを中心に業界特化型のプロダクト、各種オプション機能、制度対応や複雑な算定のためのコンサルティングを提供し、企業のサステナビリティ経営を支援しています。

【企業向けウェビナー開催中】

当社では、脱炭素経営のための企業向けウェビナーを毎月開催しています。国内外の脱炭素の最新動向や、「Zeroboard」をはじめとした各種ソフトウェアの活用方法などを解説しておりますので、ぜひお申し込みください。詳しくは当社ウェブサイトのイベントページをご覧ください。

【本件に関するお問合せ先】

各商品・サービスについて（営業本部） sales@zeroboard.jp

報道やご取材について（広報） pr@zeroboard.jp